

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケート等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)「先生は生徒一人一人を理解してくれている」「長所に着目した指導をしている」と感じている生徒および保護者が60%以上である。 (2)あいさつやマナーが向上したり、言葉遣いが丁寧になったと感じている生徒が50%以上である。 (3)自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は70%以上である。	・個人面談や生徒観察・検査等を通じて生徒理解を図る。 ・全職員で丁寧な指導および情報を共有する。 ・常に保護者との連携を心掛ける。 ・生徒との信頼関係を構築した上で、社会に必要なマナーや言葉遣い等の指導を推進する。	A	B	B	定期的に担任が面談を実施するとともに、必要に応じて随時面談を行い、生徒の実態把握に努めてきた。さらに、養護教諭による面談も実施し、生徒が相談しやすい環境を作った。	様々な問題を抱える生徒がいると思うが、生徒一人一人に対応した丁寧な指導を継続してもらいたい。
	2 資格取得推進に向けた指導を行っていますか。	(4)資格取得に向けた指導に満足している生徒が60%以上である。	・学校行事や生徒会活動、LHR、部活動など、特別活動の充実を図る。 ・行事に対し消極的な生徒に対し、参加しやすい雰囲気づくりに ・授業やHRを活用し資格取得を喚起する。また、授業において取得に向けた内容の工夫を行う。 ・補習や部活動を通じて、きめ細やかな指導を徹底する。	C	C	C	職員が様々な場面で声かけや挨拶等を行うことにより、多くの場面で場面で挨拶できる生徒が増えてきた。	
	3 就業支援や職業教育の推進に向けた指導を行っていますか。	(5)就業情報の提供や就業支援に向けた指導に満足している生徒が60%以上である。	・進路通信を定期的に発行し、LHR等で活用して情報提供・支援を行う。 ・ハローワークを活用した求人情報の提供を行う。	B	C	B	学校行事等を生徒主体で実施するなど、生徒の自己肯定感を高められるような工夫をした。次年度は、全員が積極的に行事へ参加できるよう工夫したい。	
	4 交通安全指導を行っていますか。	(6)交通安全に十分に注意して登下校している生徒が70%以上である。	・交通安全教室を年2回、交通用具点検を年3回実施する。 ・HRや行事時に、交通安全に係る話題を提供する。	A	B	A	授業やHRの指導を通して、生徒の資格取得への意欲の向上を図るなど、組織的な対応はできたと考える。さらに検定合格に繋げたい。	今後も検定取得を通して、生徒の成功体験に繋がるよう指導して欲しい。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(7)「授業が分かりやすい」と思っている生徒が70%以上である。	・生徒の実態に応じた分かる授業の実践、ICT機器の活用、及び授業改善に努める。 ・個に応じた授業を心掛ける。	A	B	B	定期的に進路通信を発行し、情報提供を行ったり、卒業生による就業体験発表や4年生による進路体験発表会を実施するなどして工夫した。また、度々外部の講師へ依頼し、講演会等を行った。	
	6 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	(8)単位未修得者は、全生徒の10%以下である。（休学を除く） (9)いずれかの検定に合格する生徒が50%以上である。	・適宜、補習等を実施することで、学習進度の遅い生徒を支援する。 ・習熟に差のあるクラスにおける指導方法の工夫を図る。 ・年間を通して、検定への受験喚起及び支援を行う。	B	B	B	教員それぞれが工夫した授業を実践し、生徒の学習意欲の向上のために努力した。また、ICT機器も積極的に活用した。単にICT機器を使用するだけでなく、授業の効率が向上するよう努めたい。	
	7 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(10)校内の美化・安全点検を月に1回実施している。	・安全点検日を月に1回、学期末に全生徒による美化活動を実施する。	B	B	B	欠席の多い生徒について、家庭との連絡を密にするとともに、欠席時のプリント類の収集、登校時に配布するなどの取り組みを意識的に行った。	
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	(11)いじめの未然防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると思っている生徒が60%以上である。	・教育相談会を定期考査後に実施する。 ・アンケートを年3回実施する。 ・いじめを許さない雰囲気を経営的に構築する。	B	B	B	授業における内容の理解に不安な生徒に対し、授業のみならず課外の時間を活用し個に応じた指導に努めた。	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	9 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(12)欠席・遅刻をする生徒が10%以下である。 (13)学校生活が充実していると感じている生徒が70%以上である。	・登校時指導を実施する。 ・全体指導だけでなく、個別に欠席や遅刻防止に向けた指導を行う。 ・個に応じた指導を実施する。 ・学校行事の充実を図る。	B	B	B	月1回の安全点検を計画的に実施した。各学期末には特別清掃として、各自のロッカー・下駄箱の清掃を行った	今後もいじめの未然防止・早期発見にしっかりと取り組んでほしい。
	10 計画的な指導を行っていますか。	(14)学校から提供される情報が役立つと思っている生徒が70%以上である。	・HRや授業を通して、社会的に自立するために必要なデータを提供する。 ・教育相談会を定期考査後に実施し、生徒の実態把握に努め、指導の充実を図る。	B	C	B	年間5回の教育相談、3回のアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見に努めた。今年度のいじめの認知はなかった	
	11 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(15)自分の適性を理解している生徒が60%以上である。 (16)自らの進路について改めて考えるようになった生徒が60%以上である。	・進路適性検査を実施し、自己理解を深める。 ・キャリアパスポートを活用して具体的な目標設定、及び行動につなげる。 ・外部講師による進路講演会を実施する。 ・卒業生による就業体験等の対話会を実施する。	B	C	B	毎日の登校時指導において、生徒とのコミュニケーションを図るとともに、基本的な生活習慣について日常的に指導している。	基本的生活習慣は社会に出てから非常に重要なものなので、高校生活で身に付けられるよう指導して欲しい。
	12 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(17)保護者会に積極的に参加している保護者が60%以上である。 (18)学校公開を2回以上実施している。	・日頃から保護者の要望に柔軟に対応する。 ・公開授業を計画的に実施する。 ・定時制Webページを充実させ、積極的に情報発信する。	B	C	B	定時制全日制合同開催の文化祭（高商祭）に参加することで、生徒の活躍の場を広げることができた。	
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	13 ICTを活用した指導を行っていますか。	(19)ICT機器を活用した授業に、生徒の60%以上が満足している。	・校内研修を実施し、教員のICT機器に対する習熟と活用法の共有を図る。	B	B	B	進路通信を定期的に発行し、生徒・保護者に情報を提供するとともに、外部講師による進路講演会など計画的に進路行事を開催した。	
	14 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(20)ICTを活用したアンケートを3回以上実施している。 (21)会議や打ち合わせにおいて、ペーパーレスを実施している。	・GoogleFormsの積極的活用を推進する。 ・kinakoを活用した校内環境の充実を図る。	B	C	B	適性検査等を実施し、それを生徒の指導に活かすことにより自己理解を促し、進路について考える機会を作ってきた。	
				B	C	B	外部講師による進路講演会、卒業生による就業体験発表会、4年生による進路体験会を実施し、進路を身近に考える機会を作った。	
				B	B	B	案内等で保護者の出席を促し、欠席した保護者には別の機会を設けるなどして、ほとんどの生徒の保護者が出席した。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。				A	B	B	計画に則って、授業日の学校公開を2回実施した。また、中学生や保護者に対する学校見学を随時対応し、情報の公開に努めた。	
				B	C	B	職員研修でChromebookの具体的な活用方法について取り上げるなどした結果、各先生方が工夫した授業に取り組んでいる。	ICT機器を活用し、生徒にとって分かりやすい授業を工夫してもらいたい。
				B	C	B	授業アンケート（2回）、学校評価アンケート（2回）でGoogleFormsを活用した。また、職員間の調査等の大半はGoogleFormで行った。	ICT機器の活用は、現代の生徒にとって必須事項だと思うので、さらに発展させて欲しい。
				B	B	B	今年度よりkinakoを本格導入し、毎日の打合せをペーパーレス化している。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。								